

はんい 森林組合だより

発行 令和6年1月1日
飯伊森林組合 ☎0265-22-0604
〒395-0033 長野県飯田市常盤町30
HP <https://hanishinrin.or.jp>

第169号



くみあいネットワーク
お山のぼづりん
キャラクター

謹賀新年

令和6年



南アルプス「聖岳」

あけましておめでとうございます。組合員皆様におかれましては、健康や新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、コロナ禍の収まらない中、インフルエンザも流行し、集団感染を心配する

こととなりました。また世界情勢は、ロシア・ウクライナ紛争が収まらない中、イスラエルとハマスによる戦争の勃発が生じ、まったく明るい兆しが見えなくなりました。また自然界に目を向けると、異常に暑かった夏を感じて、改めて地球環境の温暖化現象を感じるところです。このように地球規模で様々な課題を抱えながら2023年は去り、新たな年を迎えました。さて、組合運営は、新たな林業経営に向けて動き始めました。いわゆる急斜面のかつ脆弱な地質に対して作業路網の開設は、山を壊してしまうため、従来行われた架線集運材を用いた木材生産を行うことです。林業不適地と言われている、先人は相当な苦勞を重ね立派な森林を築いてくれました。木材として利用できるまでに成長した木材を何とか利用して先人の苦勞に報いたい気持ちです。

再造林は、間伐を繰り返し自然植生に合わせ針広混交林に導きたいと思いき、今度は自然環境の保全林づく

りです。ご自身の山林をどのように維持・管理していくか森林組合と一緒に考えたいと思います。

木材の利用面では、家や事務所の内装に木材を利用していたきたいのです。木材の持つ断熱性や調湿性・弾力性などによって、心理面に良い影響をもたせ、人にやさしいのが木材です。このような観点から住宅リフォームなどに是非ともヒノキ・スギ材を使っていたらいいと思います。

また木材は育ってきた過程で二酸化炭素を固定しており、木材を利用すれば二酸化炭素を排出されずに固定されますから温暖化を防ぐことにもなります。住まいの中にも森林をといったところです。

人と自然の調和は、争いの絶えない現代社会において、人々の安らぎに通じる大きなことだと思います。森林の持つ人にやさしい豊かさと、人々の心の安定を保つ役割を果たすためにも持続性ある森林管理・経営を目指したいと思っております。

結びに組合員の皆様におかれましては、ご健康に留意され今年も無事平穏に暮らしていただきたくお祈り申し上げます。



新年のご挨拶
代表理事・組合長 林 和弘

林業架線研修会



令和5年10月23日～25日の3日間 飯田市上郷野底山財産区所有林において架線研修会を行いました。長野木材チップ工業(有)から3名の講師をお願いし、林業再生課の職員29名でエンドレスタイラー式の架設から集材までを学びました。



今後、急峻な地形の多い南信州地域の皆伐・再造林を進め、木材の安定供給を構築して行く為の足掛かりとなりました。

女性職員研修会

令和5年10月26日「上伊那森林組合女性職員研修会」に吉澤常務と女性職員8名で参加させていただきました。最初に、両組合の概要と展望についてのお話をお聞きしその



後、女性職員同士で質疑応答を行いました。今まで改めて聞くことはなかったけれど、聞いてみたかった業務のことをお話することができ今後の業務に生かせるヒントをもらった有意義な時間となりました。

令和6年

飯伊木材共販開催日程

月	日	曜日	市回数	備考
1	18	木	567	初市
2	15	木	568	
3	15	金	569	
4	18	木	570	
5	17	金	571	
6	13	木	572	
7	11	木	573	
8	23	金	574	
9	19	木	575	
10	17	木	576	
11	14	木	577	
12	19	木	578	納市

SBCラジオ「信州から届け! 森人(もりびと)日記」に出演しました!

SBC信越放送ラジオで特別番組「信州から届け! 森人(もりびと)日記」が放送されました。番組では、長野県各地の森林を仕事場として働く人々を「森人(もりびと)」と呼び、普段の仕事や森林で働く良さ、日常の楽しみなどをインタビュー形式で語りました。

当組合からは、東部支所 益山勝人所長が出演いたしました。なぜ森人になったの? 山で何をしているの? など、森林で働く魅力を森人としてお話しています。

放送は、終了しておりますが IPサイマルラジオサービス「Radiko(ラジオ)」で聴取できるほか、YoutubeのSBCチャンネルで動画をご覧いただけます。

お詫び:168号の第564回木材共販市況表 樹種に誤りがありました。誤)すず 正しくは、すぎです。

新年のご挨拶



南信州地域振興局
林務課長 清水 靖久

令和6年の新しい年を迎え、謹んでお慶び申し上げます。皆様には、ますます御健勝で新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。さて、昨年を振り返りますと、記録的な酷暑が続く、「不要不急の外出は控えて」というアナウンスが繰り返される中、屋外での作業に従事される皆様のご労苦は如何ばかりかと思ふ日々が続きました。草木の成長の早さに驚かされるとともに、クマの里地への出没増加など、改めて圧倒的な自然の力を感じることもありました。

これも地球温暖化の影響でしょうか。「長野県ゼロカーボン戦略(2021~30)」に掲げた30年度の温室効果ガス排出削減目標に対し、現状ペースでは目標達成が困難であることから、県は、効果が見込まれる部門を明らかにし、昨年11月、「長野県ゼロカーボン戦略ロードマップ」を策定し、2050ゼロカーボンの達成を目指します。林業・木材産業は、「吸収部門」として、主伐・再造林を進め、森林資源の若返りによりCO2吸収

量を高め、固定化のために県産材利用を推進することを位置づけ、その役割は一層重みを増しています。

こうした中、林業・木材産業を取り巻く環境に目を向ければ、ロシアによるウクライナ侵攻、記録的な円安などを背景とした物価高が内需拡大に影響を及ぼし、昨年7月に開催された国の国産材の安定供給体制に係る需給協議会において、住宅価格は高騰しているものの、需要者側から製材品の価格の引き下げを求められているとの発言がありました。生産経費が増加している木材価格について、需要者側に適正な転嫁を図るためには、原木及び製品の安定供給と市場のシェア拡大により、商品の供給者としての発言力を高めることが必要と考えます。

前述のとおり、山元の現場の作業環境は厳しさを増し、

災害に対応するための強靱化、クマ剥ぎやシカ食害など課題が増加していますが、一方で、南信州地域では、昨年度から、急峻な地形を克服する次世代架線集材の実証に着手し、また、鬱蒼とした森林に主伐の斧が入り、さわやかな風が吹き抜ける開けた環境を形成した山の活用への期待も高まっています。

県としましては、現場の課題の解決に向き合い、山の恵みを活かし、関係の皆さまと一層の連携を図り、南信州の木、山、環境が全国から注目される、当該地域の発言力が高まることを目指して取り組んでいきたいと考えております。

本年が、森林、林業、木材産業にとって、また、組合員の皆様にとって素晴らしい年になることを祈念申し上げます。年頭のご挨拶いたします。



国立研究開発法人 森林研究・整備機構
森林整備センター
長野水源林整備事務所長
三津山 博文

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、日頃より、森林整備センターが実施する水源林造成事業につきまして、格別のご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昭和三十六年に事業を開始して以降、水源林造成事業は、洪水の緩和や水質の浄化といった水源涵養機能はもとより、二酸化炭素の吸収、土砂流出の防止、生物多様性の保全など重要で多様な機能を発揮しています。また、事業の実施を通じて、山村地域において

安定した就労機会を提供するなど地域振興においても大きな役割を果たして参りました。

事業開始から六十年を経過し、契約期間が満了を迎える契約地がこれから増加して参ります。今後協議するにあたり、契約を終了する方法として4つの方法をもって協議して参ります。

①普通伐期 現契約期間内に保安林の伐採限度面積以内で主伐を実施し、契約を終了する方法

②長伐期 契約期間を概ね80年以上を育成期間とする長伐

期に延長し、主伐時には小面積分散伐採により主伐を実施し、契約を終了する方法

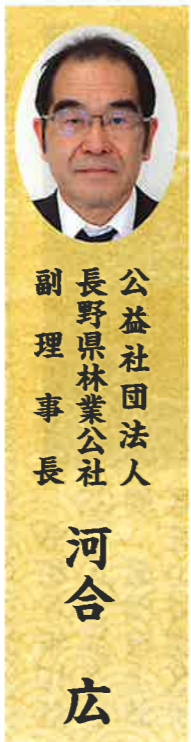
③育成複層林 2段林又は3段林の伐採区域を設定しその区域内に於いて更新伐を行い、最初の伐採した区域についてはセンターが植栽を行い、その植栽した造林木を主伐して終了する方法

④所有者への立木販売 気象災害、獣害等が起因することにより不成績地となり立木販売が困難と判断される契約地又は、車両系や架線系であったも搬出が不可能であるため立木販売が困難と判断される契約地については、造林地所有者へ立木販売を行い終了する方法

ご紹介した方法をもって、当事者間で協議を行って参ります。

先導的に取組みを進めている飯伊森林組合の皆様からのご指導、ご助言を賜りたくよろしくお願いたします。

結びに、飯伊森林組合様の益々のご発展と組合員の皆様のご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



公益社団法人
長野県林業公社
河合 広
副理事長

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、日頃より当公社事業につきまして格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症も2類相当から5類に変更となり、観光業など今まで抑制されていたものが解放され、コロナ以前に戻ると思いきや、5類になってもコロナ感染者数は増え、しばらく見られなかったインフルエンザも夏

ごろから蔓延し、なかなかマスクを外せない一年でありました。さて、当公社では、設立以来半世紀余にわたり森林整備を行い、県土の保全、森林資源の充実等に努めてまいりました。その中でも南信州地域は、県下分収林契約の3割を超える整備面積を有しており、その9割以上を飯伊森林組合様に整備をお願いしているところであり、公社経営は、木材価格の低迷が続く中、依然として厳しい状況にあります。

令和3年度新たに策定しました第2次経営改革プランに基づき、経営の改善を図りながら契約地の森林管理を着実に実施してまいりますので、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

また、昨年は、搬出間伐を計画的に行う「企画提案型搬出間伐等促進事業」を新たに導入したところ、飯伊森林組合様においても積極的に取り組んでいただきました。今後とも森林作業道の整備等を通じて、主伐時の利益を増大させ、森林所有者の皆様にご多幸を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

2016年SGEC(緑の循環認証会議) CoC取得

製材工場 ほうりん

南信州の木を活かし、木と共に生きる社会づくりを目指します。
南信州木づかいネットワークにご参加ください。

運営 株式会社 飯伊
製材工場ほうりん 〒395-1101 下伊那郡喬木村 400-161
TEL 0265-49-8418 FAX 0265-49-8419

南信州の木をご利用下さい

チェーンソー・刈払機・薪割り機・管理機・発電機
【販売・修理専門店】

製材機・木材加工機・木材乾燥機・木屑焚きバイオマスボイラーの販売・修理

ミズホ鋼機株式会社

飯田市松尾新井7002-1 Tel.(0265)48-5320 Fax.(0265)48-5321